

世界最大の Real World Data ネットワーク OHDSI(オデッセイ) の紹介

OHDSI オデッセイ

⇒ コミュニティ(研究会)の名称

“Odyssey” と同じ発音になるようにしたもので、英語ではオウデシー等

OMOP-CDM オモップ CDM

⇒ OHDSIが運用するデータモデルの名称



OHDSI
OBSERVATIONAL HEALTH DATA SCIENCES AND INFORMATICS

オデッセイ
ジャパン

www.ohdsi-japan.org



OHDSIとは何か

- 世界に広がる、RWD連携分析の
オープンサイエンス活動
- Linux開発者グループ等と同様な、
自発的コミュニティ

目的-下記の両方が達成できるように！

- (1) 協力してエビデンスを創出して世界に貢献
(OHDSIとしての成果)
- (2) 活動自体が、参加者のRWD活用に役立つ
ように (参加者としての成果)



OHDSIの活動

- 活動内容
 - 連携してエビデンスを創出する研究。
 - OMOP-CDM規格を維持し運用する。
 - 活用のためのツールも開発。
 - 各種のコミュニティー活動
 - シンポジウム/勉強会/スキルアップ機会の提供。
 - 参加者自身のRWD活動のための機会提供。
- ※成果は原則全て無料利用可能。
- OHDSIはコミュニティー、
つまり OHDSI = OHDSI参加者、です。
 - 他の参加者の成果を利用できますが、
自身も何か貢献しましょう。
 - そして活動を本業/本務に役立てましょう。

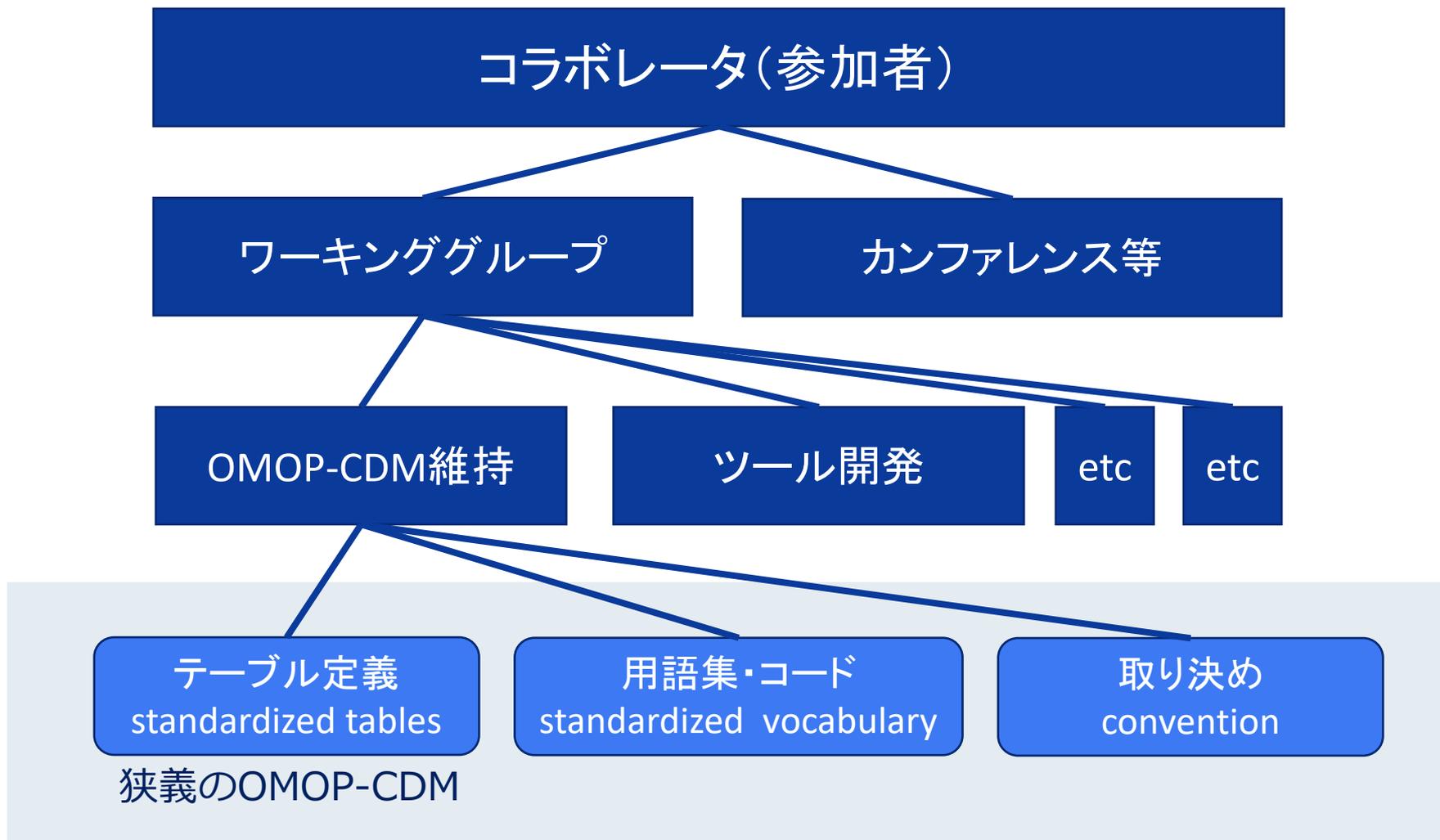


OHDSIは何でないか

- データベンダーではない
 - 世界中のデータを収集していたりはない。
 - データはデータ保持者の所に留まる。
 - データ保持者の連携ネットワークにより実施する。
 - ライセンスビジネス組織ではない
 - OHDSIでは原則すべて無料で利用できる。
 - 開発コストは開発参加者が負担。
 - 参加者がOMOPを使ってビジネスするのは構わない。
(OMOPビジネスで参加コストをカバーしてほしい)
- ※Linux等のオープンソースエコノミーに準じている。



OHDSIの構成要素





本日の演者

- なぜOHDSIか

木村 映善 (愛媛大学医学部 医療情報学講座)

- OHDSI Japan 日本での取り組み

岡田 昌史 (IQVIAソリューションズジャパン株式会社)

- 医療機関におけるOHDSI(OMOP CDM)の利用

青柳 吉博 (国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門)

- 88 hours: OHDSIのCOVID-19への取り組み

平松 達雄 (国際医療福祉大学 未来研究支援センター)



世界最大の Real World Data ネットワーク OHDSI(オデッセイ) の紹介

まとめ

- RWD連携分析のオープンサイエンス活動
- ワールドワイドな活動。
- 「エビデンスの創出」 「参加者のRWD活用支援」

- OMOP-CDM、ボキャブラリ、取り決め (convention)
- **分析ツール、日本レセプトのETLツール等**
- 連携共同研究「ネットワーク研究」



各講演では

- なぜOHDSIか
OHDSIの特徴
RWD活用における位置づけ
- OHDSI Japan 日本での取り組み
月に1回程度のカンファレンス
The Book of OHDSIの翻訳
国内データでのOMOP-DB整備
- 医療機関におけるOHDSI(OMOP CDM)の利用
レジストリタイプ
診療情報DBタイプ
- OHDSIのCOVID-19への取り組み
OHDSI/OMOPの短期での取組力の実証



OHDSIに参加するとできること

- 医療機関
 - 自院データでOMOP-CDMの構築
 - ⇒院内利用：DWHの代わり
 - ⇒シームレスな連携利用
 - 地域医療連携で活用。他地域とも可能。
 - 国内連携に参加/リード
 - via OHDSI Japan や 日本医療情報学会
 - 国際連携に参加/リード via OHDSI
- IT企業、ヘルス企業
 - 顧客のデータでOMOP-CDMの構築、活用のサポート
 - OMOP-CDMを使ったデータ調査/分析依頼
- 大学病院/研究機関
 - 協力してエビデンスを創出しましょう。



OHDSIまとめ

● すごい

- ・ 真に国際的に動いているRWD活動。
- ・ 世界最大の連携データネットワーク。
(延べ20億人、重複を除いて6億人以上。)

● 安心

- ・ 個々のデータは収集していない。
- ・ データはデータ保持者のところに留まる。
- ・ 個々の研究に参加するしないも自由。
- ・ 顔が見えるオープンなコミュニティ。

● 実績がある

- ・ 世界的著名誌(LANCET)にも論文掲載
- ・ 各参加組織では様々に活用。

**ただし、、日本ではこれから！
まずは月次会にzoom参加してください。**



OHDSIはどこへ向かうのか

www.ohdsi-japan.org

再度Linuxに例えまして、LinuxCon Japan 2013でのLinuxの生みの親であるLinus氏の言葉を紹介します。

「Linuxにはプランはないが、開発に参加する人にはそれぞれのプランがある」

「さまざまなプランがそれぞれ動いているのがLinuxで、それは1つのプランで動くよりずっと面白い」

LinuxをOHDSIに読み替えてください